

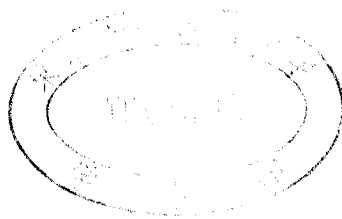
チュートリアル課題 すぐ疲れる佐伯さん

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-10-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/10842

2005年度 Block. 5

課題 No. 4

「すぐ疲れる佐伯さん」



Copyright © 2005 by the author. All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted, in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the prior written permission of the publisher.

すぐ疲れる佐伯さん

シート 1

佐伯さんは 40 歳の主婦です。1 か月前から体調がすぐれず、何をしてもすぐ疲れてしまうのに気付いていました。最近では、布団を片づける際に持ち上げられなくなりました。単なる疲れであろうと思い、薬局で勧められたサプリメントを服用していましたが、改善しないのでかかりつけの医院を受診しました。

A 医師：「触診で肝臓は腫れていませんが、いろいろな病気が考えられるので、いちど採血をしてみましょう。今日はとりあえずビタミン剤を処方します。」

【抽出を期待する事項】

- ・ 易疲労感
- ・ 筋力低下
- ・ 疲労の原因疾患として、貧血、糖尿病、肝障害、慢性疲労症候群、甲状腺機能低下症、膠原病など

すぐ疲れる佐伯さん

シート 2

2日後、佐伯さんは検査の結果を聞きに医院を再診し、検査の結果を見た医師は、安静が必要であると診断しました。【資料1】

佐伯さんは1週間後、もういちど医院を受診して採血を受けましたが、検査成績がAST 170 IU/L, ALT 78 IU/L, ALP 120 IU/L, LDH 720 IU/Lと悪化を認めたため、その医師は佐伯さんを地区の中核病院に紹介するべく、診療情報提供書を作成しました。

紹介先の病院で改めて検査が行われた結果、診断の大きな手掛かりが得られました。

【資料2】

【抽出を期待する事項】

- ・肝障害の可能性
- ・病診連携・かかりつけ医と病院の連絡体制
- ・CK上昇
- ・AST > ALT
- ・筋原性酵素の上昇に気付く
- ・白血球減少

すぐ疲れる佐伯さん

シート 3

理学的所見では、両手指の腫脹が認められ、聴診上、心第 II 音の亢進がありました。
CK アイソザイム MM98%, MB2%, BB0%、アルドラーゼ 108mU/ml、免疫学的検査に異常を認めました【資料 3】。徒手筋力テストで左右の三角筋、上腕二頭筋、腸腰筋、大腿四頭筋に明らかな筋力低下を認めました。入院を勧められ、入院後も精査が進められました。

【抽出を期待する事項】

- ・ 手指腫脹
- ・ 筋原性酵素上昇を確認する
- ・ 筋炎の存在に気付く
- ・ 自己免疫性疾患
- ・ 抗核抗体陽性で高値
- ・ 混合性結合組織病 (Mixed Connective Tissue Disease) の可能性
- ・ 心音の異常

すぐ疲れる佐伯さん

シート4

大腿四頭筋のMRIで異常所見が認められ、その部位から筋生検が行われた結果、組織学的に診断が確定しました。

全身的な精査も続けられ、胸部X線単純写真、心電図、食道造影X線写真に異常を指摘されました。

- 主治医は、佐伯さんと佐伯さんの夫にこの疾患の予後と治療法につき説明した上で、特定疾患医療助成制度の利用を勧めました。さっそく夫が区役所へ申請用紙を取りに行き、主治医が申請書に記入しました。

【抽出を期待する事項】

- ・多発性筋炎
- ・肺高血圧症
- ・食道蠕動異常
- ・多彩な膠原病の症状
- ・悪性腫瘍の除外診断
- ・インフォームドコンセント
- ・医療費の公費助成制度